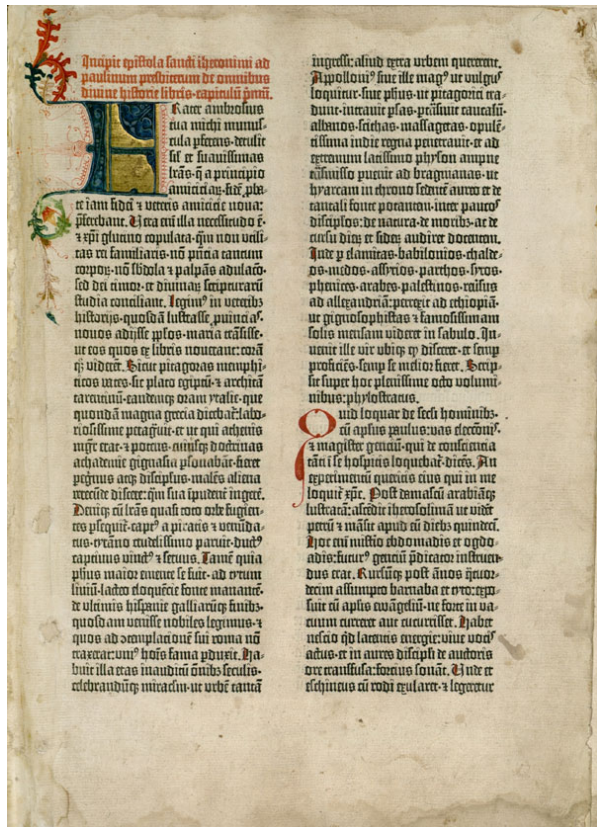


東京大学の知の開放 —理想の教科書 UT-eTEXT—

東京大学 大学総合教育研究センター
藤原毅夫



「理想の教科書」を考えるまで

1. 学術俯瞰講義

- 学問の入り口にいる大学1, 2年生を対象 (1500名/学年 受講)
- 「知」の大きな体系や構造のより広い視野.
学問領域の全体像、相互関係を俯瞰する.
- 学生自身が、現在学んでいる分野の意義や位置づけを認識.
- 将来、研究において必要な広い視野のきっかけ.

2. 東京大学内にある知の活用

- ITを用いた新しい教材
self-education 進化する教科書
コンテンツ、フレームワークともに理想的→理想の教科書
- 教育の形を変える(含 初等、中等教育)

学術俯瞰講義

- 2005 (冬) 物質の科学
- 2006 (夏) 社会の形成
(冬) 学問と人間、 生命の科学
- 2007 (夏) 社会からみたサステナビリティ、 数理の世界
(冬) 情報が世界を変える、 エネルギーと環境
- 2008 (夏) 世界に生きる
(冬) 科学の歴史と未来
- 2009 (夏) 科学の歴史と未来
(冬) 数学を作る
- 2010 (夏) 法と理の間の間

1年4講義を1年間で一巡させる。

- 理科学、数理科学
- 人文科学、人間(思想、認知、哲学etc)、地域・国際
- 社会科学、その他:理科、文科で上に含まれないもの。

(オムニバス講義ではなく)複数教員で1つの講義を作る。⇔準備は大変手間がかかる。
コーディネーター、ナビゲーター、+4~6名程度の教員

電子書籍と紙媒体の比較

- (一): 紙の匂い、印刷の匂い
: 本屋や図書館の雰囲気 (ゆっくりとした時間の流れ)
- (+): 索引(検索)機能、参照機能
: 図書館・文書館・博物館へのリンク(他の知恵の利用)
: 情報の蓄積・検索 (読み捨て不要)
- (++): 動画、アニメーション
: Virtual Reality (疑似体験可能)
: 画面上での実験 (アニメーション)
: 共同作業、受け手集団の協調性
: 双方向性 (interactive)

電子教科書とは

➤ 電子ブックの動きに呼応

Kindle (Amazon) 、i-Pad (Apple)、Tablet 型PC

✓ 電子書籍の理想には遠い？ なぜか？

➤ フレームワーク先行、コンテンツ不十分

✓ 将来像(目的)が不明確.

理由1: 大規模IT企業先行、技術の進展のスピード

理由2: 電子化に伴う著作権のあり方が未整理→無理解、煩雑、困難
各国で異なる著作権の考え方 (公正な利用 Fair Use)

理由3: Re-useの困難 (コンテンツの陳腐化、高いソフト依存性)

1. コンテンツの使い回しを可能にするために
コンテンツとフレームワークの分離
面倒な新技術は使わない
2. 著作権処理の一元管理・効率化
3. 最高のコンテンツにするよう努力

我々の UT-eTEXT を見てください

理想の教科書 UT-eTEXT

<http://ut-etext.ocw.u-tokyo.ac.jp/page.top/>

理想の教科書 UT-eTEXT:システムの概要

□システム 著作者:東京大学、情報技研、オーム社

◆データ(13回講義15件として)→約**150G**バイト

➤編集システム (約35Gバイト)

✓テキスト登録・編集、ビデオ登録、ppt登録、
参考図表登録、リンク情報

✓ビデオ、ppt、テキストの同期

✓1TEXT file→ページ毎管理→1TEXT fileとしてダウンロード可

➤著作権管理システム (約80Gバイト)

✓著作権登録、管理、検索

➤公開系システム (約35Gバイト)

✓公開登録

✓検索

✓アクセス管理

□教科書以外の利用

➤実験手引書、ガイダンスブック

まとめに代えて

1. **UT-eTEXTを製作し、公開の段階となりました。**
コンテンツとフレームワークの切り離し。
教育現場はどう受け止めるか。「所詮-----ですね」か？
2. **多様な利用の可能性を考えていただけませんか！**
実験書、実験ガイドブック、種々のワンストップS
3. **著作権処理の困難。**（何を保護？ **日本国民の活動に不利益**）
4. **オリジナリティとは何か。**
5. **これは大学の研究か、社会へのサービスか。**
継続的事業として(**誰が経費を負担するのか**)。)
6. **将来へ向けて：双方向性、協調作業をどう可能にするか？**
7. **再び、「理想の教科書とは？」** コンテンツか、システムか？
双方向性：利用者管理をどこですか。

まとめに代えて

1. UT-eTEXTを製作し、公開の段階となりました。

コンテンツとフレームワークの切り離し。

教育現場はどう受け止めるか「所詮-----ですね」か？

2. 多様な利用の可能性はありますか！

実験書

Platform

トップS

3. 著作権

4. オリジナル

5. これは

純

教師

Interactive

(に不利益)

Text C

Text B

Text A

Text A

6. 将来へ向け

能にするか？

7. 再び、「理想の

か、システムか？

私たち(利用者)の様々な工夫を生かせる舞台がほしい！

UT-eTEXTを載せるプラットフォームを作ってください